

ターンテーブル

N^o5105

取扱説明書

mark
Levinson[®]
by HARMAN

目次

はじめに	3
安全上のご注意.....	3
使用上のご注意.....	3
梱包内容	4
設置	5
準備.....	5
開梱.....	5
水平調節.....	5
プラッターを載せる.....	5
ベルトを取り付ける.....	5
トーンアームの準備.....	5
組み立てとアラインメント調整	6
アンチスケーティング設定	7
接続	8
操作	8
ターンテーブルの操作.....	8
トーンアームの操作.....	8
本機の使用に際して	8
仕様	9
寸法図	10

はじめに

この度は、マークレビンソン・ターンテーブル N°5105 をご購入いただき、誠にありがとうございます。

50年近くにわたり、圧倒的なサウンドの質を誇るマークレビンソンの製品はオーディオ愛好家を自負するたくさんのお客様に選ばれ続けております。素材ひとつひとつに対するこだわり、豪華な外観、計算された回路構成、卓越したパフォーマンス、これらすべての要素がマークレビンソンのブランドを支えています。そして N°5105 も例外ではありません。

本機の性能を充分にお楽しみいただくため、本書をよくお読みのうえ設置と組み立てを行ってください。本書をお読みになったあとは、いつでもご覧になれるように大切に保管しておいてください。

安全上のご注意

感電や事故の危険を防ぐために以下の注意事項をお守りください。

- ・ 必ず AC100V、50/60Hz のコンセントにつないでお使いください。
- ・ 接地端子付きのコンセントを使用し、本機を接地してください。
- ・ 電源コードに延長コードをつなぐ場合は、接地ができる延長コードをご使用ください。
- ・ 分解・改造をしないでください。
- ・ パワーアンプの出力を間違えて本機の端子に接続しないでください。

使用上のご注意

設置場所について

本機の組み立て後の総重量は約 34kg になります。本機の重量に耐える、水平で安定した場所に設置してください。また、周囲の温度が著しく変化するような場所には設置しないでください。

移動について

本機を移動するときは、必ずプラッターを取り外してください。

本機を長く使用しないときは

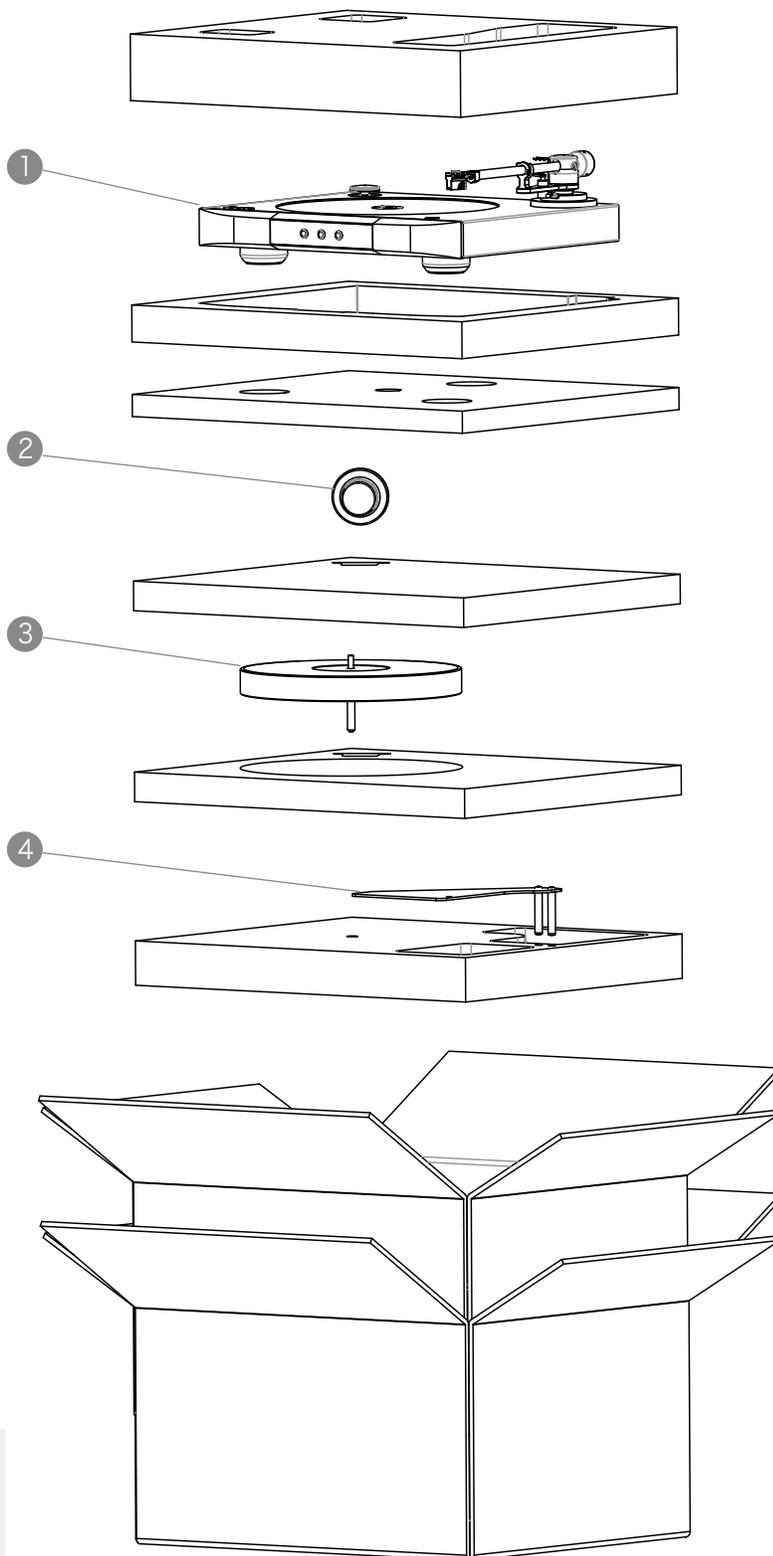
電源スイッチを切り、電源コードを抜いてください。

梱包内容

本機は、下図の状態で梱包されています。

不足品がある場合は、正規のマークレビンソン販売店、またはハーマンインターナショナル株式会社にお問い合わせください。

1. 本体 / トーンアーム (カートリッジは付属しません)
2. スタビライザー
3. プラッター
4. アライメント調整治具



ご注意

後日の移動や輸送に備えて、梱包材はすべて大切に保管してください。

設置

準備

本機の梱包材は、輸送中の損傷を防ぐようにデザインされています。また、本機の一部はすでに組み立てが終わっています。

開梱および組み立ては、十分な広さを持つ場所で行ってください。少なくとも 60cm 四方のスペースを確保するようにしてください。

開梱

本体を取り出し、準備しておいた設置場所に置きます。組み立て作業に支障をきたさないよう、またベアリング機構への負荷が少なくなるよう、本機の質量（約 34kg）に耐える平坦で水平な場所に置いてください。設置する棚や台の強度が高いほど、また十分に隔離されているほど、音質は良くなります。

以下のものを取り出します。

- ・ アラインメント調整治具
- ・ スタビライザー
- ・ 電源コード
- ・ アンチスケATINGウェイト
- ・ ベアリングオイル
- ・ ベルト
- ・ 本書とターンテーブルシートが入ったレコードジャケット

水平調節

本体下部の 3 つの足を回して、本体が水平になるように調節します。

足を右に回すと本体が下がり、左に回すと上がります。シャーシ上面に装備された水準器を使って本体が水平になっていることを確認してください。

プлатターを載せる

ベアリングホールを覆っているカバーストリップを取り外します。

プлатターを、ゆっくりとベアリングホールに取り付けます。滑らかに取り付けることができれば問題ありません。ベアリングホールに向かって急激にプлатターを落とすと、ベアリングの損傷の原因になります。

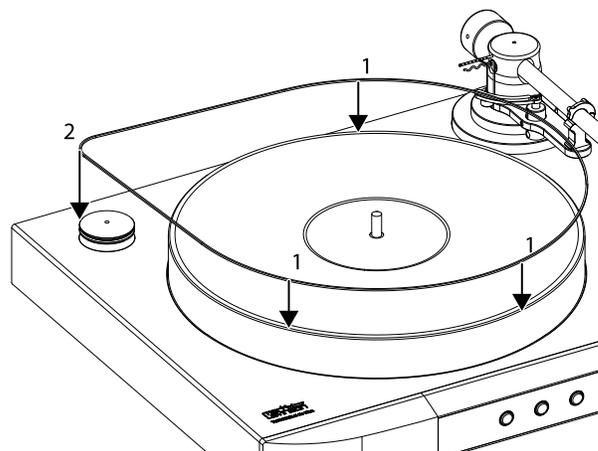
手でプлатターを回してスムーズに回転することを確認してください。モーターを回転させる前に、15 分ほどそのまま放置してプлатターが安定するまで待ちます。

ご注意

ベアリングには、出荷時に潤滑油が塗布されており、メンテナンスは不要です。後日サービスが必要になったときのため、ベアリングオイルが同梱されています。

ベルトを取り付ける

付属のベルトをプлатター (1) の外周に掛け、続いてプリー (2) に掛けます。手でプлатターを回してベルトを正しい位置に安定させてください。先の鋭いピンセットなどの工具は使用しないでください。プлатターやプリーの損傷の原因となることがあります。



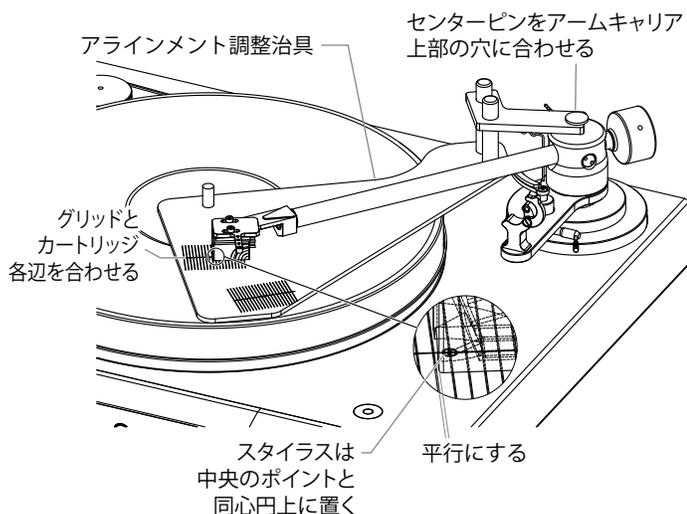
トーンアームの準備

トーンアームに、使用するカートリッジを取り付けます。

組み立てとアライメント調整

付属のアライメント調整治具を使ってターンテーブルとのアライメントを正しく調整してください。

アライメント調整治具のグリッドとカートリッジの辺を合わせます。



アームボード背面にあるVTA(垂直トラッキング角度)固定ネジ(M4)を、市販の2mm六角レンチを用いて緩めてトーンアームの高さを調整します。**トーンアームは、最大の注意を払って慎重に動かしてください。また、トーンアームは決して外さないでください。**トーンアームは、本体内部で信号出力のために基板に固定されています。

アジマス調整をする場合は、ヘッドシェルのアジマス固定ネジ(M3)を市販の1.5mm六角レンチを用いて緩めてください。

- ・ネジ穴付きカートリッジは、当該カートリッジのメーカー製のネジで固定します。指定以外のネジはネジ穴と合わず、使用するとネジ穴やカートリッジの損傷の原因となることがあります。
- ・パススルー取り付け穴付きカートリッジは、カートリッジに付属のネジとワッシャー、およびナットを使用して固定します。

- ・トーンアームのコードは次のように色分けされています。
赤-右チャンネル、ホット
緑-右チャンネル、アース
白-左チャンネル、ホット
青-左チャンネル、アース

ご使用のプリアンプで極性が反転する場合は、ホットとアースを入れ替えます。例えば、赤のコードを緑の端子に、緑のコードを赤の端子に接続します。左右のチャンネルは入れ替えないでください。

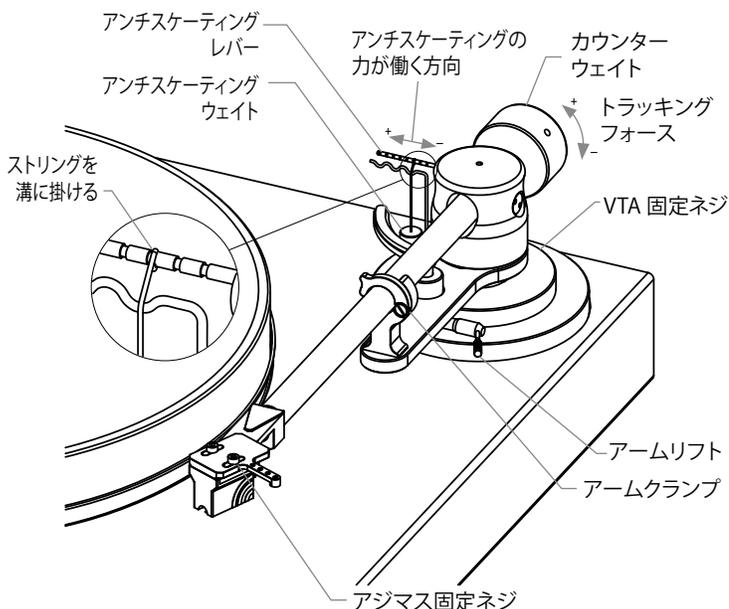
- ・ピンセットや先の細いペンチで赤のコードの端子部中央をつまみ(コードはつままないでください)、カートリッジの右チャンネルホットのピンに接続します。残る端子も同様に接続してください。端子を押し込み過ぎると、カートリッジの損傷の原因となることがあります。
- ・アライメント調整治具の後部がトーンアーム部と対向するようにしてスピンドルに載せ、治具の穴にスピンドルを通します。

カートリッジのアライメント調整時は、スタイラス保護カバーなどの保護部品は取り外しておいてください。スタイラスやカンチレバーをぶつけるなどして傷つけないようご注意ください。

- ・トーンアームをアライメント調整治具上で左右に動かし、スタイラスがグリッドにもっとも近づくようにします。カウンターウェイトを調節して、その下向きの力によりスタイラスが治具上を滑らかに動くようにします。カウンターウェイトを調節するときは、スタイラスが治具に触れてスタイラスやカンチレバーが傷つくことのないようご注意ください。
- ・ダイヤモンドスタイラスがアライメント調整治具の中央に位置する状態で、カートリッジ正面に向かって光をあて、カンチレバーが治具のグリッドラインと平行になるようにカートリッジ取付位置を調整します。重要なのは、カートリッジの各辺をグリッドに合わせるのではなく、カンチレバーをグリッドに合わせることです。アライメントを調整しながらカートリッジ取り付けネジを締め固定します。カートリッジを取り付けたら、カウンターウェイトを回転させ、市販の針圧計などを使用してトラッキングフォース(針圧)を調整してください。

アンチスケーティング設定

最新のトーンアームやカートリッジでは、アンチスケーティングの設定は unnecessary な場合があります。本機のアンチスケーティング設定用部品は、トーンアームのピボット部に取り付けられています。



上図を参照し、アンチスケーティングウェイトのストリングを掛けるレバーの溝を変えてアンチスケーティングの力を調節してください。

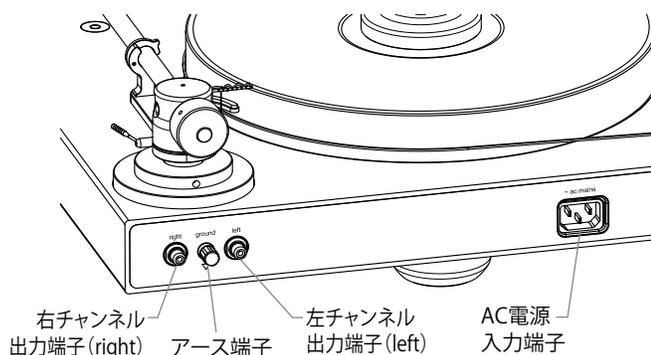
- ・ お手持ちのレコード盤をプلاتターに載せ、電源を入れてスタイラスをレコード盤に下ろします。レコード演奏中、正面から見てカンチレバーに偏りが無いか、スタイラスをレコードの溝から持ち上げたときに左右にシフトしないか確認してください。カンチレバーがレコードの中心に向かって偏っている場合（トーンアームがレコードの中心から離れる方向にシフトする場合は、アンチスケーティングの力が強すぎます。アンチスケーティングウェイトのストリングをトーンアームのピボット部に近づけてアンチスケーティングの力を弱めてください。
- ・ レコード盤上の複数のポイントでアンチスケーティングの力をチェックし、必要に応じて調整してください。ウェイトのストリングをピボット部から遠ざけるほどアンチスケーティングの力が強まり、近づけるほど弱まります。
- ・ レコード演奏を聴きながらでもアンチスケーティングの力をチェックすることができます。左チャンネルの音の歪みが大きすぎると感じられるときはアンチスケーティングの力が強すぎており、右チャンネルに歪みが大きいときは弱すぎです。

接続

以下の手順で接続してください。

接続には市販の RCA ケーブルが必要です。高品質の RCA ケーブルをご用意ください。

1. 本機の RCA 出力端子 (right/left) を、RCA ケーブルを使用してプリアンプの PHONO 入力端子に接続します。
2. 本機のアース端子を、アースコードを使用してプリアンプのアース端子に接続します。
3. 本機の AC 電源入力端子に付属の電源コードを接続し、コードのプラグをコンセントに接続します。



操作

ターンテーブルの操作

AC 電源に接続すると、本機はスタンバイ状態になり、スタンバイ / 停止ボタンの周囲のリングがゆっくり点滅します。

- ・ 回転数が示されたボタンを押すと、ボタンのリングが点灯しプラッターの回転が始まります。プラッターは、ゆっくりと回転を始め、押したボタンの回転数に到達します。ベルトの損傷を防ぐため、徐々に回転が速くなっていきます。
- ・ プラッターの回転を止めるには、スタンバイ / 停止ボタンをもう一度押します。ボタン周囲のリングは点灯状態になり、プラッターは、その重さにより、完全に停止するまでゆっくりと回転を止めていきます。
- ・ 本機をスタンバイ状態に戻すには、スタンバイ / 停止ボタンを 3 秒間押し続けます。スタンバイ / 停止ボタン周囲のリングがゆっくり点滅し、スタンバイ状態になったことを示します。

トーンアームの操作

- ・ アームを固定しているクランプのロックを開きます。
- ・ トーンアームリフターのレバーを奥に上げてトーンアームを持ち上げます。
- ・ カートリッジをレコードの導入部の溝の上に合わせます。
- ・ トーンアームリフターのレバーを手前に倒してスタイラスをレコードに乗せます。
- ・ レコードの演奏が終了したら、アームリフターのレバーを奥に上げてスタイラスをレコードから離してから、アームを操作し元の位置に戻します。

本機の使用に際して

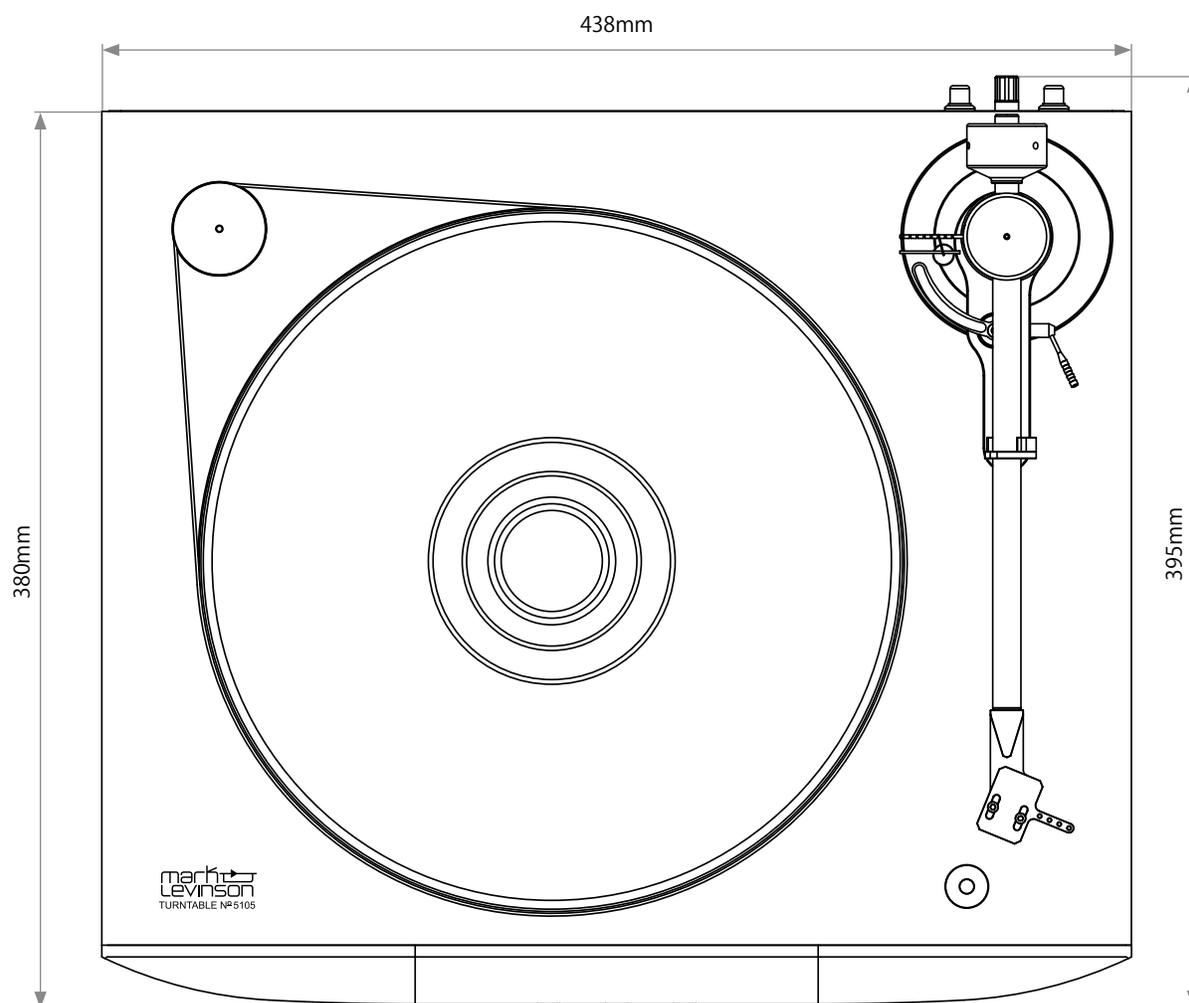
- ・ 本機の性能を最大に引き出すため、一回使用したら 20 時間以上休ませてください。
- ・ 付属のシート以外にも、様々なターンテーブルシートをお試しいただけますが、必要に応じてトーンアームの高さを調整してください。

仕様

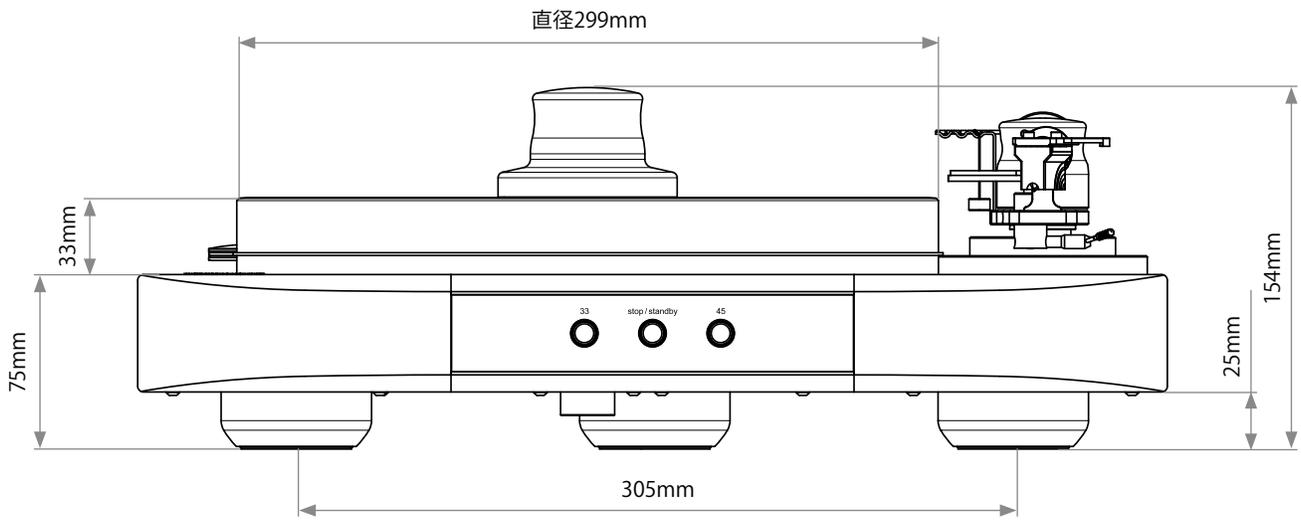
駆動方式	DC モーター・ベルトドライブ
回転数	33 1/3rpm、45rpm
電源	内蔵 AC/DC アダプター、AC100V-260V、50/60Hz
ベアリング	高精度ベアリング
シャーシ	幅 438 x 高さ 50 x 奥行 380mm、アルミニウム製、足（高さ調整可能）x 3
プラッター	直径 299mm、厚さ 34mm、アルミニウム製、重量約 6kg
トーンアーム	有効長：10 インチ（254mm） 取り付け距離：237.8mm オーバーハング：16.2mm 高さ調整可
寸法	幅 438 x 高さ 154 x 奥行 395mm
重量	約 34kg

寸法図

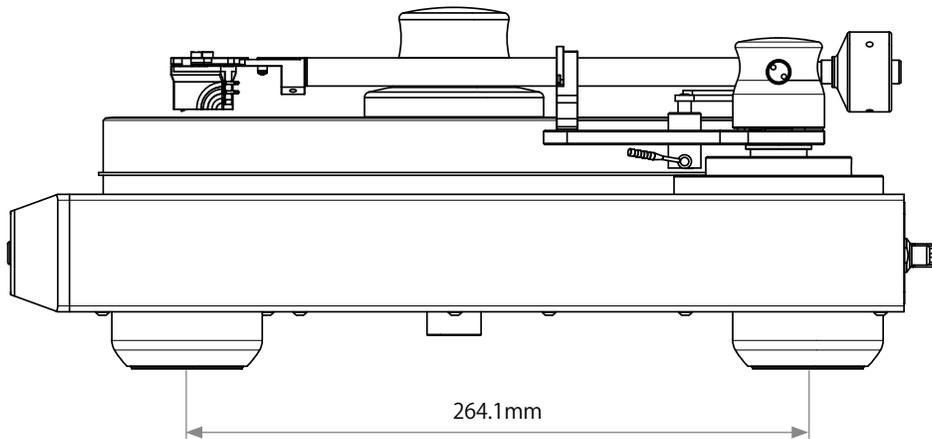
上面



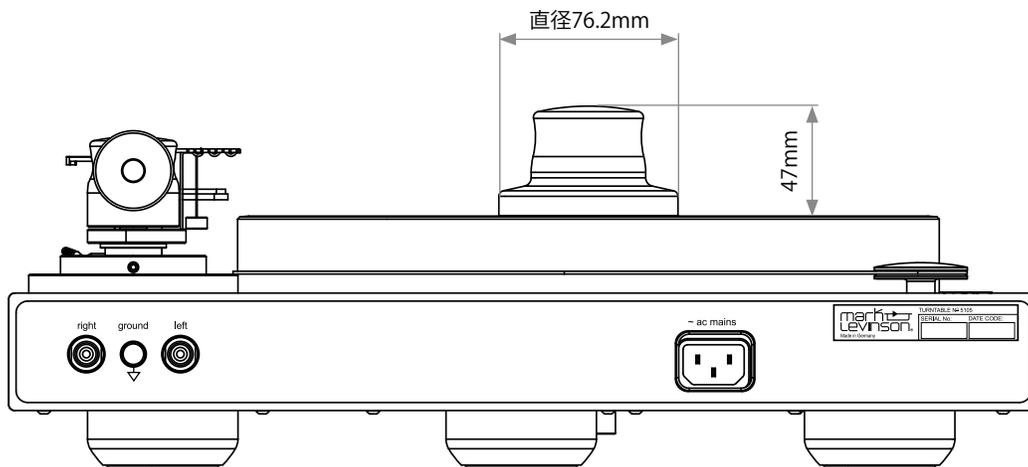
正面



右側面



背面





HARMAN International Industries, Incorporated
8500 Balboa Boulevard
Northridge, CA 91329 USA

© 2020 HARMAN International Industries, Incorporated. All rights reserved.

Mark LevinsonはHARMAN International Industries, Incorporatedの登録商標です。

その他の会社名および製品名は、それぞれに関連する会社の商標である可能性があります。

この文書はHARMAN International Industries, Incorporatedによる確約と解釈されるべきものではありません。この文書に含まれる情報および製品の機能、仕様、外観は予告なく変更される場合があります。HARMAN International Industries, Incorporatedは、この文書に記載されている可能性がある間違いについて責任を負いません。

カスタマーサービスおよび製品の出荷情報については、弊社のWebサイトwww.harman.com/japanをご覧ください。

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

<http://marklev.harman-japan.co.jp/support/>

Tel : 0570-550-465 (ナビダイヤル) 受付時間 : 土日・祝日を除く、平日 9:30 ~ 17:30

www.harman.com/japan

ML-VH-0009
12200250